学生の学修状況を段階的に把握するための方法についての一覧表（別紙）
修得する学識と能力・素養カリキュラム把握時期把握方法１ 把握方法2
（５）平和を希求する精神
　高度専門職業人たる法曹として，自由で
平和な国際社会の構築に貢献しようとする
グローバルな視野や総合的な判断力を有
し，その基礎的素養を身につけているこ
と。
大学院共通科目
研究科共通科目
３年終了時
平和科目（Hiroshima から世界平和を考え
る）及びアジア法の履修状況
担当教員からのフィードバック
エクスターンシップの担当弁護士からの
フィードバック
法律相談依頼者からのコメント
臨床法務のコメントペーパー
法律基本科目の応用科目
（４）高度専門職業人たる法曹としての職
業倫理
　法曹としての責任感と十分な職業倫理を
身につけ，法律に関する実務の基礎的素養
を身につけていること。
実務基礎科目 ３年在学中
法曹倫理
リーガル・クリニック（法律相談）
エクスターンシップ
模擬裁判等の実務系科目の評価
３年在学中
法律基本科目の基礎科目
重点演習１と重点演習２以降の評価の推移
GPA
客員教員との拡大FD
科目別の教員会議（FD）
学生による授業改善アンケート
学生と教員との意見交換会
（３）豊かな人間性と幅広い教養
　充実した法的支援とサービスを提供する
「国民の社会生活上の医師」として，優れ
たコミュニケーション能力とともに，社会
や人間関係に対する洞察力と豊かな人間性
を有していること。
基礎法学・隣接科目
展開・先端科目
２年終了時
３年在学中
授業中の発言・積極性
学生による自主ゼミ等の開催
リーガルフェローゼミへの参加状況
リーガルフェローゼミの担当弁護士から
のフィードバック
（１）高度の専門性と深い学識
　法曹になるために必要な専門的学識（専
門的な法律知識その他の学識）を紛争解決
の場面に応用し，状況に応じて柔軟かつ適
切に運用できる思考力と判断力を有してい
ること。
１年終了時
各科目の評価（教員コメント）
GPA
共通到達度確認試験教員及び広島弁護士会の弁護士による授
業参観
共通到達度確認試験後の個別面談
学生による授業改善アンケート
学生と教員との意見交換会
２年終了時
各科目の評価（教員コメント）
GPA
（２）将来の法曹としての実務に必要な専
門的学識とその応用能力
　法の定めや先例がない問題領域において
も，事実に即して具体的な法的解決策を分
析し，専門的学識を発展させていく創造的
な思考力と判断力を有していること。